

学校だより

六GOっ子

心ゆたかで かしこく たくましい子

No. 6

館林市立

第六小学校

H28.10月

「団結だ！1位めざして熱くなれ」(大会スローガン) ～運動会頑張りました！～

今年の9月は不安定な天候が続き、14日間も雨の日がありました。運動会が近づいて来てなかなか回復せず、当日も朝方の雨のため順延にさせていただきました。しかし、翌日は暑いくらいの運動会日和に恵まれ、大津心彩さんによる元気いっぱいの開会の言葉で幕を開け、体育委員長橋本翔空くんの力強い選手宣誓で一気に子ども達の心にも火がついたようでした。



1年生から6年生までが、自分のため、団のために精一杯頑張ってくれました。得点競技の成績に一喜一憂する中で、学年を超えた強い「きずな」が生まれたことと思います。今年の優勝は「すすかけ団」でしたが、「つつじ団」「いちよう団」「かしのき団」が互いにすばらしいライバルだったからこそ、最高の運動会ができたと感じます。それぞれの団の「きずな」をこれからも大切にしていきたいと願います。

【給食センター愛称募集】

平成30年度に移転を予定している新学校給食センターの愛称を児童・生徒から募集します。募集期間は12月1日までとなっています。近日中に募集要項が配布されますので、たくさんの応募をお待ちしています。

(給食センターの愛称例)

宮城県大崎市→ひまわりキッチン
北海道白老町→パクパクしらおい
島根県安楽市→ハッピークック

【校内持久走大会駐車場について】

10月25日(火)に校内持久走大会が開催されます。出走時間やコースについては、各学年から通信等で連絡があります。それに伴い、保護者の方々の駐車場につきまして、次の場所をご利用ください。

- ・職員北側駐車場
- ・六郷保育園駐車場
- ・杉並幼稚園北(砂利)駐車場

以上3カ所となりますので、**9:45以降**に駐車してください。なお、近隣店舗の駐車場には駐車しないようお願いします。

【館林市小学校陸上記録会】

10月5日(水)に城沼総合運動公園で陸上記録会が開催され、本校からは5年生7名、6年生19名の児童がエントリーしました。

夏休み明けから朝練習に励み、少しでも自己記録の更新に向けて頑張ってきた結果、以下の児童の県大会出場が決定しました。

50mハードル女子:若井咲弥果さん(6年)

5年男子100m走:吉田拓弥くん、樋熊慧人くん

5年女子100m走:佐藤礼菜さん

6年男子100m走:神原一乃丞くん

400mリレー男子:吉田拓弥くん・橋本翔空くん(6年)・樋熊慧人くん・神原一乃丞くん

友好男子100m走:YAMASHIRO FERNANDEZ ERIC HITOSHIくん(6年)



【全国学力・学習状況調査の結果】

4月19日に実施した全国学力・学習状況調査の結果、群馬県の小学生は算数A(知識に関する問題)で全国をわずかに上回ったものの、国語A(知識に関する問題)・B(活用問題)、算数B(活用問題)で全国を1ポイント程度下回る結果となりました。本校でも、ほぼ同様の結果となり、今後さらに基礎・基本の定着が必要と言えます。以下に今後の主な改善点をまとめてみました。

I 国語は、以下の4観点から評価しました。

- ・「国語への関心・意欲・態度」
- ・「話す・聞く能力」
- ・「読む能力」
- ・「言語についての知識・理解・技能」

II 国語では、学力向上を図るために次の4点に力を入れていきたいと考えます。

- ・基本的な漢字の読み書きについては、十分とは言えず、さらに定着させることが必要。
- ・文章を正確に読み取り、要点や主旨を正しく理解する力を育てていくことが必要。
- ・知っている事や調べた事などを文意で相手に伝える際、分かり易く記述する力や表現する力を更に育てていくことが必要。
- ・質問の内容を正しく理解し、文章の中から解答の根拠となる部分を読み取る力を育てていくことが必要。

児童質問紙の結果から、算数に比べ、国語については「好き」あるいは、「国語の勉強は大切」と回答した児童の割合が低い傾向にあるため、国語への関心・意欲を育てていく必要性が明確となりました。また、文章の読み取りや論述、分かり易く相手に伝える表現に関する問題に苦手意識を持たないよう、学習指導の方法を検討して行きたいと考えます。

III 算数は、以下の4観点から評価しました。

- ・「算数への関心・意欲・態度」
- ・「数学的な考え方」
- ・「数量や図形についての技能」
- ・「数量や図形についての知識・理解」

IV 算数では、学力向上を図るために次の5点に力を入れていきたいと考えます。

- ・四則計算のうち、特に乗・除法の性質やきまり正しく理解することが必要。
- ・「割合」の定義、意味を正しく理解することが必要。
- ・文章を基に立式したり、式の意味を正確に理解することが必要。
- ・グラフや表を読み取る力を育てることが必要。
- ・条件に合った作図をすることや図形の性質を正しく理解することが必要。

児童質問紙の結果から、国語に比較し、算数への関心・意欲が高い結果が出ています。そのため、算数の方が 正答率が高い傾向が明らかになりました。また、算数の授業の内容を「分かる」と回答する児童が全国や県の平均を大きく上回っていました。算数の授業については、今年から 教科担当制による習熟度授業を取り入れたことがプラスに作用していると判断できます。今後は基礎基本をしっかりと定着させ、国語同様に知識を活用する力を育てていきたいと考えます。

V 児童質問紙の結果から

本校の児童は、基本的な生活習慣が定着し、朝食をしっかりと食べ、決まった時間に就寝・起床している割合が全国より高いです。また、将来の夢や希望を持ち、失敗を恐れずに挑戦したり、人前で自分の考えを発表できる子も高い割合にあります。家庭での読書の時間については、全国や県の値を上回りつつあることも特徴的です。反面、家庭学習については、全国や県と比較して、宿題以外の学習取り組む割合が低く、学習時間も少ない結果が出ています。これは、本校に限らず館林市全体の傾向となっています。また、ゲームをする時間についても全国・県の平均と比べ長いという結果も出ています。

学力テストは、単純な計算問題や短文問題による一問一答形式ではありません。算数でも正しく問題文を読み続け、順次回答する形式です。国語では、その傾向がさらに強く、長文を正しく読み進めていくことが大きなポイントとなっています。文章を正しく読み取り、自分の知識を活用して問題を解くためにも、学校の授業の復習や普段からの読書がとても大切になってくると感じています。